

令和2年度 学校評価表

島根県立松江商業高等学校

※は、目標値に対する評価値の割合(評価値/目標値)

※評価 A(目標達成):100≦ B(ほぼ達成):70≦、<100 C(できていない):<70

※学校関係者評価 A:達成できている B:概ね達成できている C:できていない

評価計画							自己評価					学校関係者評価		
評価項目	中期経営目標	短期経営目標	担当分掌	目標達成のための方策	評価指標	目標値(A)	資料	評価値(B)	達成度(B/A)	評価	結果と課題の説明	評価	コメント	
								アンケートは1月統計は2月						
学習指導	学力の向上	望ましい学習習慣の形成	教務	a. 授業の始めと終わりの時間厳守とあいさつの徹底 b. 学習規律の確立を目指した授業づくり	①わたしは、授業に積極的に取り組んでいる。	90%	アンケート(生徒②)	88%	98%	B	(1)2項目ともに昨年度の数値と全く同値であり、目標値までは届かなかった。さまざまな個性を持つ生徒に対して、授業スタイルや指導方法を工夫しながら対応していくことをさらに進めていく。	B	<ul style="list-style-type: none"> 公開授業のあり方について高く評価したい。一部授業だけではなく、全授業を1週間にわたって公開している点や、学食を開放する点など、画期的な取組みである。先生方がわかりやすい授業づくりに取り組んでいる様子が伝わってきた。 コロナ禍の今のように今後もリモートなどを想定しICT環境をより整え、それを使える教員の育成が必要。 生徒アンケートからは学校での授業に満足している様子が伺える。家庭学習の時間は個人の意志・通学時間・部活動の活動状況なども影響すると思われる。家庭学習の習慣化を定着させる質・分量を考慮した課題等を工夫してほしい。 授業での課題や検定試験に向けての取り組み、又先生方の指導も適切だった。 生徒アンケートでは学習指導の項目が良好となっており、概ね達成できていると評価する。 	
				a. 適切な課題による家庭学習の習慣化	②先生は、生徒の授業態度に対してはじめのある指導をしている。	95%	アンケート(生徒⑨)	93%	98%	B	(2)2項目ともに昨年度の数値を上回った。適切な質・量の課題を与え、それにきちんと取り組ませる指導を、引き続き徹底していきたい。さらに生徒の自主的な学習を引き出すような働きかけも増やしていく必要がある。			
				④生徒に家庭での学習を促すよう、教科指導や課題を工夫した。	80%	アンケート(教員①)	79%	99%	B					
	教員の指導力の向上	a. 研究授業、公開授業等の実施 b. 生徒による授業評価の実施 c. ICT環境の活用		⑤先生は、わかりやすい授業や、生徒自身が考える授業づくりに努めている。	90%	アンケート(生徒⑩)	90%	100%	A	(3)生徒からの評価は昨年度より1ポイント上昇し、目標値に達することができた。しかし、教員の評価項目は授業改善・ICT活用ともに目標値に達しておらず、さらなる授業改善が必要である。ICT環境が整って3年目となり、毎時間のように使う教員と全く使用しない教員と区別化されてきた。いつも使う必要はないが、効果的な場面では躊躇することなく使えるようなスキルを身につけておく必要がある。また、今後リモート授業をする必要に迫られた場合への備えも準備しておく必要がある。				
		⑥授業アンケート結果に基づき授業改善に取り組んだ。		90%	アンケート(教員②)	87%	97%	B						
		⑦ICT環境を活用した授業実践に取り組んだ。		90%	アンケート(教員④)	64%	71%	B						
教育環境の整備	生徒の学習を支援する体制の充実	a. 授業時間の確保 b. 個別指導、補充授業の実施	⑧曜日変更などによる授業時数の確保や、補習計画立案などの個に応じた指導は適切であった。	90%	アンケート(教員⑤)	92%	102%	A	(4)4月の休校、分散当校、短縮7限、夏休み短縮等さまざまな取り組みをして授業時間を確保したことが評価されたと考える。					
特色ある学校	商業教育の充実	資格取得の支援	商業	a. 検定補習、合宿の実施 b. 検定ロードマップの作成	⑨全商検定1級3種目以上取得率	40%	統計資料	32%	80%	B	(5)全商検定1級3種目以上の取得者は59名。そのうち、1級7種目取得者1名、5種目取得者5名、4種目取得者は20名だった。また、今年度は延期や中止で受験の機会が少なかったが、日商簿記2級、基本情報技術者試験等でも合格者を出すことができた。	A	<ul style="list-style-type: none"> 商業高校ならではの資格取得や、社会人としてのビジネスマナー、実践的な教育をさらにアップデートして頂き、地元から必要とされる学校になってほしい。 松商の特色の一つである「松商だんだんフェスタ」が開催できなかったことが残念でならない。他校の実践や生徒の柔軟な発想を活かしながら、来年度以降実施されることを期待している。 各種資格取得は合格者の数が全てではないが、目標を持って学習に取り組むことが学習の深化に役立つものと考えている。その結果は松商の対外的な評価にも繋がると思うので、指導方法の工夫に更に努力を継続してもらいたい。 	
				a. ビジネスマナー指導の充実 b. 「松商だんだんフェスタ」の充実	⑩ビジネスマナー指導は自分にとって役に立つ。	90%	アンケート(生徒⑫)	91%	101%	A	(6)目的の一つである、「挨拶」「礼儀」の大切さが実感できている。ビジネスの場に応じたマナーや対応力が身につくように指導を続けた。また、フェスタは生徒・保護者の皆様から大きな期待をいただいている。本来の目標や基本理念を見失うことなく、新しい価値観で進化させていく。			
	⑪「松商だんだんフェスタ」は有意義である。	90%		アンケート(生徒⑧)	95%	106%	A							
生徒指導	望ましい生活習慣の育成	生徒	生徒	a. 身だしなみ指導の計画的実施 b. 全教職員と生徒会による登校指導と適切な声かけ c. 校内外でのマナー(通学マナー)指導の充実 d. 校内外での挨拶の励行	⑫毎日きちんと学校に登校する生徒の割合(出席率)	99%	統計資料	98.9%	99.9%	B	(7)生徒部教員による朝の登校指導(あいさつ、登校マナー)で、生徒の様子を観察しながら継続的に声かけを行った。今年度は、あいさつ運動への教員の参加率が上昇した。振る舞いや身だしなみについても、計画的に身だしなみ指導を行い、成果は感じられる。一部気になる生徒もいるので、一過性ではなく継続的な指導を行っていきたい。引き続き生徒部と学年部で連携しながら全教員で取り組んでいく。	A	<ul style="list-style-type: none"> あいさつ、身だしなみ、後片付けについてはかなり徹底されているように感じ高く評価している。 身だしなみやあいさつなど、きちんと指導できている。 学校内外に関わらず、松商生徒としての自覚を持った行動、言動をとっていただきたい。 学校へ訪問した際、爽やかなあいさつや落ちついた身だしなみは品格があり好印象を持った。校外においても凛とした松商生として行動できる様、引き続き挨拶、ルール、マナーの遵守について、学校生活全体を通して身に付けさせるよう指導に取り組んでもらいたい。 遅刻はクセになりやすいため、その遅刻がない点は評価できる。 	
				⑬非遅刻率	99%	統計資料	99.5%	101%	A					
				⑭わたしは、高校生らしい身だしなみを心掛けている。	95%	アンケート(生徒④)	98%	103%	A					
	基本的生活習慣の確立	健康管理・美化活動の推進		保健	a. 健康管理に関する適切な指導 b. 教育相談、生徒支援の委員会(さわやか委員会等)の充実 c. 清掃指導の徹底	⑮配慮を要する生徒の情報を共有し、協力して支援を行なうことができた。	90%	アンケート(教員⑫)	96%	107%	A			(8)さわやか委員会で話し合った生徒について、職員会議で報告をして情報共有を行った。今後も必要に応じて情報の共有に努め、生徒の支援を行っていく。
					⑯わたしは、清掃活動に積極的に取り組んでいる。	95%	アンケート(生徒⑥)	96%	101%	A	(9)清掃に対する取り組みはほぼ満足できる状況である。今年度は保健委員が大掃除の用具の準備・片付けを責任を持って行なった。今後も校内美化を推進していく。			

令和2年度 学校評価表

※は、目標値に対する評価値の割合(評価値/目標値)

※評価 A(目標達成):100≦ B(ほぼ達成):70≦、<100 C(できていない):<70

※学校関係者評価 A:達成できている B:概ね達成できている C:できていない

評価計画							自己評価					学校関係者評価	
評価項目	中期経営目標	短期経営目標	担当分掌	目標達成のための方策	評価指標	目標値(A)	資料	評価値(B)	達成度(B/A)	評価	結果と課題の説明	評価	コメント
								アンケートは1月統計は2月					
生徒指導	人権・同和教育の推進	人権・同和教育の体制作り	図書人権教育・生徒	a. 生徒理解と信頼関係の確立	①学校では、面談などを通して生徒理解を行う努力がなされている。	90%	アンケート(生徒⑬)	92%	102%	A	(10)教職員に悩みを相談できる雰囲気があると答えた生徒が少ない。生徒から気軽に相談できる雰囲気を作るため、日頃から教職員から生徒へ声をかけたり、生徒の変化をよく観察する等、信頼できる関係を築く努力が必要である。また、教職員にとって「当たり前」でも、生徒にとっては「頑張って取り組んだ結果」であることも少なくない。教職員の方がより一層意識して生徒自身が自尊心を高められるよう生徒理解に努めていく必要がある。	A	<ul style="list-style-type: none"> 定期的に個人面談をしていただいているようでありがたい。できれば親と共有できるような場が増えると親は安心する。 引き続き、生徒が悩みを相談できるような雰囲気づくりを心掛けてもらいたい。気になる生徒については、教員間で情報共有し、声掛けをお願いしたい。 教員と生徒の信頼関係をどうやったら築けるか、自問しながら追求してほしい。 ネットトラブルに関する研修を繰り返し行なってほしい。
				b. 人権・同和教育に関するLHRの指導計画立案	②学校には、教職員に悩みなどを相談できる雰囲気がある。	70%	アンケート(生徒⑭)	64%	91%	B			
				c. 実践をともなう道徳教育の推進	③人権同和教育に関する教職員研修は有益であった。	90%	アンケート(教員⑳)	88%	98%	B			
進路指導	進路希望の実現	進路の実現のための支援体制作り	進路指導	a. 一人ひとりに応じた進路指導(進学補習・小論指導・面接指導等)	②在学中に就職先を内定する生徒の割合(内定率)。	100%	統計資料	100%	100%	A	(12)今年度は新型コロナウイルスの影響や進学での入試制度改革などが行われ、教員、生徒ともとまどいがあるなかでの進路活動だった。就職では求人数が減少し、採用日程も変更される状況だったが、一般事務職を中心に100%の内定となった。進学では学力や高校時代の活動経験が問われる入試に変更されたが、昨年、一昨年と同様の進学状況となった。今後も、早期からの進路目標設定に向け働きかけを行なう。	A	<ul style="list-style-type: none"> 複数の教員による気配りをお願いしたい。早期からの進路目標設定は有効であった。 コロナ禍で進路ガイダンスをリモートで実施するなど、就職・進学率100%達成は素晴らしい。 一人一人の多様なニーズに応じ、幅広い進路選択ができることが商業高校の魅力であると感じる。思いを持って地元に残る生徒が増えていこう、地元企業とのつながり(インターンシップ等)を充実させてもらいたい。
				b. 生徒および保護者への進路情報(進路の手引・進路だより・進路行事等)の提供と活用	②在学中に進学先を決定する生徒の割合(合格率)。	100%	統計資料	100%	100%	A			
		c. ハローワーク、松江市との連携による求人開拓	②学校から提供される進路情報は、自分の進路を考える上で役に立つ。	90%	アンケート(生徒⑮)	92%	102%	A					
特別活動	豊かな心の育成と情操の涵養	部活動の活性化	生徒	a. 各自の目標達成への支援	②部活動加入状況	90%	統計資料	93%	103%	A	(14)運動部・文化部ともに部活動は盛んであり、部活動への強い参加意欲をもって入学する生徒も多い。部活動を通じて豊かな人間形成を図りながら、将来の進路に向けて自己実現が図れるよう支援していく。今年度の前半はコロナの影響で各大会が中止に追い込まれた。しかし、生徒たちは目標を見失うことなく、周囲の様々なサポートもあり最後まで部活動をやり遂げることができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> 読書量が極端に少ない。読解力は社会に出てからも必ず必要なので、力を入れてほしい。 望まれる図書館の姿を再構築してほしい。 生徒アンケートからは図書館利用率の低さが目立っている。生徒と図書との距離を近づける工夫を色々と検討してもらいたい。 様々な大会が中止になる中、部活動に対するモチベーションを保つのは容易ではなかったと思う。常に目標を持ち続け最後までやり遂げた3年生を高く評価したい。 吹奏楽部のクリスマスコンサートは大変感動した。かなり大変な準備であったと推察する。 各種大会が中止になる中で、意欲的に部活動に取り組めた生徒が多かったこと、ならびに、感染防止策を図りながら学校行事を実施できたことを高く評価したい。 伝統的な部活動の低迷があり、生徒募集、指導者のテコ入れが必要と考える。 コロナ禍における生徒会活動も再検討が必要ならば、学校全体で話し合ってもらいたい。
				読書習慣の育成	a. 図書センターとしての役割を果たす	②図書館には読みたい本や調べ物に適した本が揃っている。	70%	アンケート(生徒⑯)	60%	86%			
		b. 学習・情報センターとしての役割を果たす	②「毎月の図書館便りや掲示物」「館外展示」は調べ学習や読書への関心を高める上で役に立つ。	60%	アンケート(生徒⑰)	50%	83%	B					
信頼される学校	開かれた学校づくりの推進	保護者との連携の推進	総務	a. 保護者面談の実施	②学校は、文書・ホームページ・メールマガジン等を通じて適切に情報を提供している。	90%	アンケート(保護者④)	81%	90%	B	(17)学校ホームページをリニューアルし、見やすく、迅速な情報提供に努めた。また、PTA会報は毎学期発行し、PTAの活動や学校の様子を伝えた。PTAの事業は今年度は中止が多かったため、コロナ禍におけるPTA活動のあり方について、今後検討を続けていく必要がある。担任による生徒・保護者面談等は着実に実施することができた。	B	<ul style="list-style-type: none"> ホームページがリニューアルされ、充実していると思う。更新状況や生徒の関わり等、良くできている。 ホームページが見やすく、頻繁に更新されている。今後も様々な学校情報を掲載し、高校のPRにつなげてもらいたい。アクセス数を評価の参考にしてはどうか。 今日、SNS等による事件・事故が多発している。専門家等による講演などを通して未然防止に努めてもらいたい。生徒のリスク回避のため情報モラル教育は生徒、教職員にとって大切であり、毎年研修が必要である。 コロナ禍でICT機器の整備を含めより一層の環境改善が必要である。 松商で行われている探究学習が、地元企業ともさらにタイアップして行われることを望んでいる。そのために振商会がバックアップしてもらうことを強く望む。 ボランティア活動などが、コロナ禍で中止が多かったようだが、可能な範囲で再開してほしい。
				c. PTA活動の充実・推進	②学校は生徒の指導にあたり、家庭・保護者との連携・連絡を行っている。	80%	アンケート(保護者⑥)	74%	93%	B			
		d. ホームページの更新、メールマガジンの発行	e. PTA会報の発行	a. 地域に貢献する活動への積極的な参加	②わたしは、今年度、ボランティア活動に参加した。(部活動や生徒会単位の地域清掃などの活動も含む)	40%	アンケート(生徒⑱)	17%	43%	C			
危機管理意識の向上	危機管理体制の確立	保健・生徒	保健・生徒	a. 危機管理に対する校内研修の実施	③情報モラルの教職員研修は十分行われた。	80%	アンケート(教員⑲)	77%	96%	B	(19)外部講師による全学年対象の情報モラル研修は、実例を踏まえた内容で成果があった。また、個人情報の取り扱いやネット中傷などの犯罪事例についても理解を深めることができた。教職員も同じ研修を受けることで、共通理解が得られた。	B	
				b. 環境整備の充実	③安全点検や清掃用具の点検・整備が行われ、環境整備が適切に行われた。	90%	アンケート(教員⑳)	91%	101%	A			
				c. 情報モラル教育の推進	(18)今年度は新型コロナウイルス感染防止の観点から多くのボランティア活動が中止または延期となった。学校で行う清掃ボランティアも、積極的に募集することはせず、主に部活動単位での実施となった。悪天候の中での清掃活動であったが、参加した生徒は一生懸命に取り組んでいた。来年度環境を整えば、一般生徒にも参加を促していく。	(19)外部講師による全学年対象の情報モラル研修は、実例を踏まえた内容で成果があった。また、個人情報の取り扱いやネット中傷などの犯罪事例についても理解を深めることができた。教職員も同じ研修を受けることで、共通理解が得られた。							